

第1学年国語科学習指導案

対象 第1学年

指導者 葦名 智子 小沼 和司

川田 夏輝 阿河 清香

1 単元名 くわしく かこう

教材名 「しらせたいな、見せたいな」(光村図書)

2 単元の目標

◎観察したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。

[思考力,判断力,表現力等]

○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。

[思考力,判断力,表現力等]

○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。

[知識及び技能]

○書いて伝えることよき気付き、次の書く学習への意欲をもつことができる。 [学びに向かう力,人間性等]

3 指導計画 (全11時間)

次	時	○学習活動	・指導上の留意点	◇評価規準 (評価方法)
第 一 次	1	○メダカとエビを教室で飼育し、生き物への愛着をもたせる。	・生活科「いきものとなかよし (みんなでどうぶつをかおう)」と関連させるために飼育する。	
		○教科書を読み、学習課題を確認し、単元の見通しをもつ。 学校にいる生き物について知らせる文章を書き、お家の人に紹介しよう。	・教科書の作例 (モルモット) から、気付いたことはどのような観点の短い言葉 (メモ) で書かれているのかをおさえる。	◇学習の見通しをもち、家の人に伝えたいという意欲をもつことができる。(観察・発言) ◇どのような観点で必要な事柄を集めればよいのか理解することができる。(観察・発言)
	生活科	○生き物(メダカ)を観察して絵を描く。	・生活科の時間に絵を描いておく。	
	2	○メダカについて、気付いたことを絵のまわりに短い言葉(メモ)で書き加えていく。	・教科書の作例から、気付いたことはどのような観点の短い言葉(メモ)で書かれているのかを確認する。	◇伝えるために必要な事柄を集めることができる。(ワークシート) ◇友達の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりできる。(観察・発言)

		<p>○友達と伝え合い、言葉をさらに加えたり、詳しく書き足したりする。</p>	<p>※観点</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・いろ ・かたち ・大きさ ・うごき（植物にはない 新しい観点） </div> <p>・同じ部位ごとに伝え合ったことを、全体で共有する。</p>	<p>◇互いの話に関心をもち、相手の話を受けて話をつなぐことができる。（観察・発言）</p>
3 ・ 4		<p>○教科書の作例（モルモット）から、短い言葉（メモ）から文章にする方法（「～は・・・です。」）を理解する。</p> <p>○短い言葉（メモ）を基に、メダカについて紹介する文章（同じ部位で）を一つ書き、全体で共有し、例文とする。</p> <p>○メダカの部位を一つ選び、例文にならって、短冊カードに文章を一つ書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><文のたしかめシート></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 声に出して読む。 ② 文末「。」チェック ③ 「は」「を」「へ」 チェック ④ 「っ」チェック ⑤ 「、」チェック </div>	<p>・教科書の作例（モルモット）から、文章がどのように書かれているのかを確認する。</p> <p>・同じ部位（特徴的な部位）を一つ取り上げて文章を書くことで、書き方の練習をする。</p> <p>・自分で作った文章の主語（説明する部位）に青鉛筆で○をつけさせ、何について書かれているのかを明らかにする。</p> <p>・「文のたしかめシート」の拡大を掲示し、「推敲」について、簡単に確認しておく。（書く作業が早く終わった児童は、できる範囲で自分で推敲を行う。）</p>	<p>◇文章を読み返し、語と語や文と文との続き方を確かめることができる。（ワークシート・観察）</p> <p>◇長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（ワークシート）</p>
第 二 次	生 活 科	<p>○生き物（ポニー）を観察して絵を描く。</p>	<p>・生活科「いきものとなかよし（みんなでどうぶつをかおう）」と関連させ、事前に学校でポニーと触れ合う。</p> <p>・生活科の時間に絵を描いておく。</p>	

5	<p>○お家の人がよく分かるように伝えるには、どうしたらよいか、メダカ・エビでの活動を想起し、話し合う。</p>	<p>・紹介をする文を詳しく書くには、どんなことに注意してメモをすればよいか、観点を全体で共有する。</p>	<p>◇どのような観点で必要な事柄を集めればよいのか理解することができる。(観察・発言)</p>
6 本時 (二組)	<p>○気付いたことを、短い言葉(メモ)で書き加える。</p> <p>○友達と伝え合い、言葉をさらに加えたり、詳しく書き足したりする。</p>	<p>・「ポニーとなかよくなろう」のワークシートを基に書き加えるようにする。</p> <p>・気付いたことは、どのような観点で書いたらよかったかを確認する。</p> <div data-bbox="639 689 1034 996" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・いろ ・かたち ・大きさ ・さわったかんじ ・うごき(植物にはない 新しい観点)</p> </div>	<p>◇友達の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりできる。(観察・発言)</p> <p>◇互いの話に関心を持ち、相手の話を受けて話をつなぐことができる。(観察・発言)</p>
7 本時 (四組) ・ 8	<p>○友達とポニーの様子について伝え合う。</p> <p>○短い言葉(メモ)を基に、ポニーを紹介する文章を書く。</p> <div data-bbox="261 1339 625 1774" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><文の作成項目例></p> <p>①自分のオススメの部位について (～は、・・・です。)</p> <p>②その他の部位について (～は、・・・です。) (さわると、・・・です。)</p> <p>③動きについて (～すると、・・・します。)</p> </div>	<p>・話す内容は、自分が伝えたいものから伝えるよう助言する。</p> <p>・文章は内容ごと(「文の作成項目例」参照)に分けて、短冊カードに書く。</p> <p>・自分で作った文章の主語(説明する部位)に青鉛筆で○をつけ、何について書かれているのかを明らかにする。</p> <p>・文章を読み返し、誤字・脱字がないことを、一つの短冊ごとに確認する。</p> <p>・ペア同士で友達の文章を読み合い、「文のたしかめシート」を使用しチェックをする。</p>	<p>◇友達の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりすることができる。(観察・発言)</p> <p>◇長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(ワークシート)</p> <p>◇文章を読み返し、語と語や文と文との続き方を確かめることができる。(ワークシート・観察)</p> <div data-bbox="1048 1668 1442 1953" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><発表文例></p> <p>「～は、○○のような・・・です。」</p> <p>「～は、・・・です。」</p> </div>

